

日本質量分析学会男女共同参画 アンケート集計・属性調査結果

1 第64回質量分析総合討論会会期中に例年行っているアンケート調査を本年も実施した。昨年同様に次の2点を考慮して項目を設定すると共に、ポスターの内容および今後の活動に対する意見・感想の収集に重点を置いた構成でアンケートを作成した。

(a) 参加者の背景情報を把握することで、どのような環境で仕事をされているのか、男女共同参画に対してどのようなお考えをお持ちなのかという事を読み取る。

(b) 毎年同じ項目を繰り返し質問することで、意識や環境の変化を経時的に把握する。

回答数 n=60

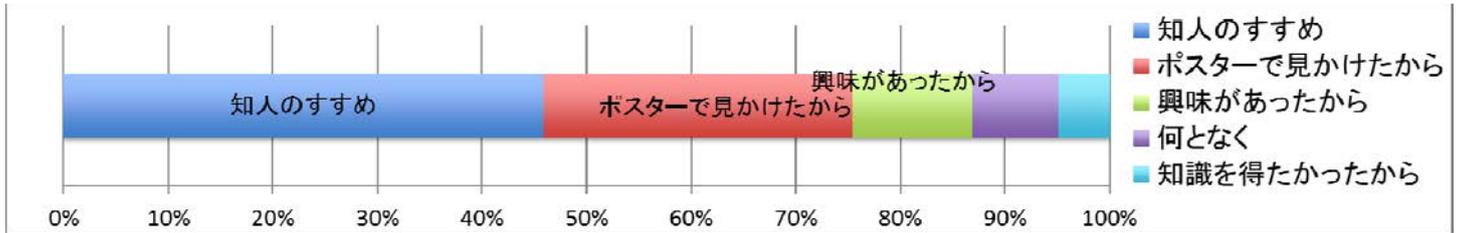
2 本年度は、男女共同参画学協会の要請で総合討論会参加者の属性調査を行った。

3 第43回BMSコンファレンス会期中において本委員会の活動に対するアンケート調査を実施した。

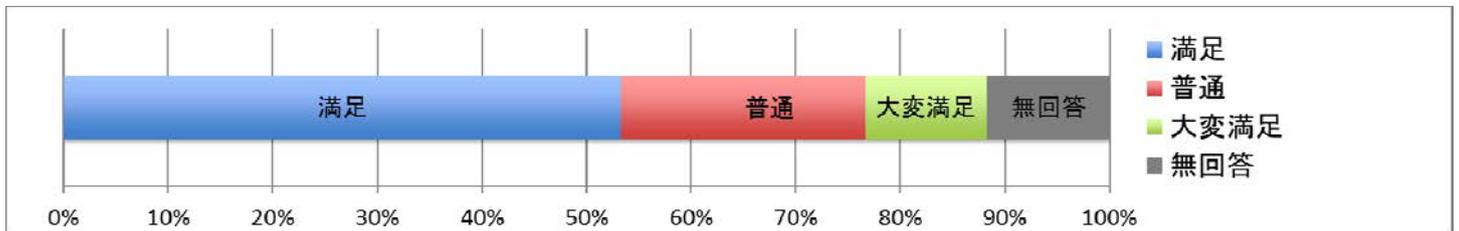
回答数 n=31

第64回質量分析総合討論会男女共同参画 アンケート集計結果

Q1. このポスター発表に参加・見学された動機は何ですか。 (複数回答可)



Q2. ポスター発表の内容はいかがでしたか。



- ◎ポスターを見学された動機は、「知人のすすめ」が半数弱でついで「ポスターを見かけたから」、「興味があったから」と続いた。
- ◎ポスターも内容については、満足と大変満足とされた方が全体の2/3程度と概ね好評であった。

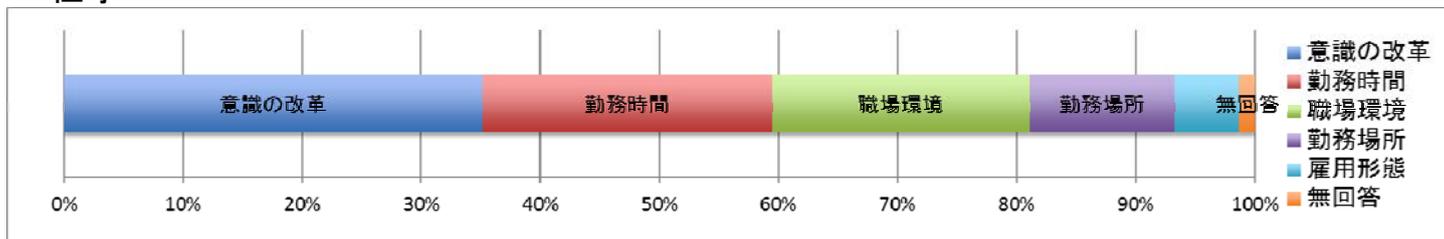
Q3. 発表の中でよかった取り組みや活動、それに対するご意見ご感想をお聞かせください

- ◎ 自身が大学院生で社会に出たことがないが、女性冷遇の風潮については少しわかっているつもりだ。対して、それに対する取り組みはさほど知らない。よってそれらを知る機会があったことはよかった。
- ◎ 参加できなかった過去の学会での取り組み内容を知ることができたので良かった。
- ◎ 他分野での取り組みを知るのは良いことだと思った。
- ◎ 会員(女性)のこれまでの経験の提示が興味深い
- ◎ 内容が豊富(もしかして多すぎ?)で、短い時間で読むのは大変だった。メッセージを大きな字でアピールできたらと思った。
- ◎ 研究資金獲得実践セミナー、女性だけでなく誰にでも当てはまる内容だった。女性も男性も同様に積極的に業績を増やして頑張らねばと思った。
- ◎ 他の人がどう思っているのかアンケート結果から知れてよかった
- ◎ 男女共同参画といってもなかなか女性に負担が多くなってしまっていて、共働みにくい社会になっているので、こうした取り組みはとても重要だと思う。
- ◎ 実践セミナー、ダイバーシティイニシアチブ
- ◎ 実際にキャリアを作られているかたの話が興味深いものだった。
- ◎ 第一線でご活躍の先生方のご経験やお考えをご紹介頂いた点
- ◎ 女性比調査、イクボス

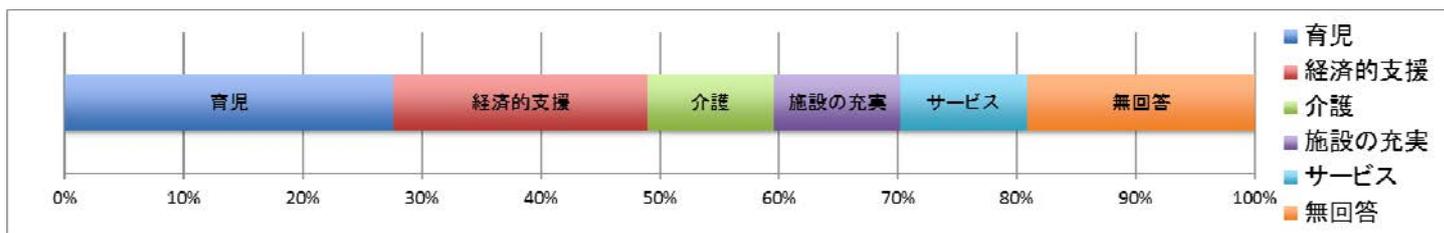
Q4. ご自身のワークライフバランスについて教えてください。

理想的な働き方であるために改善したい課題は、どこでしょうか？

仕事



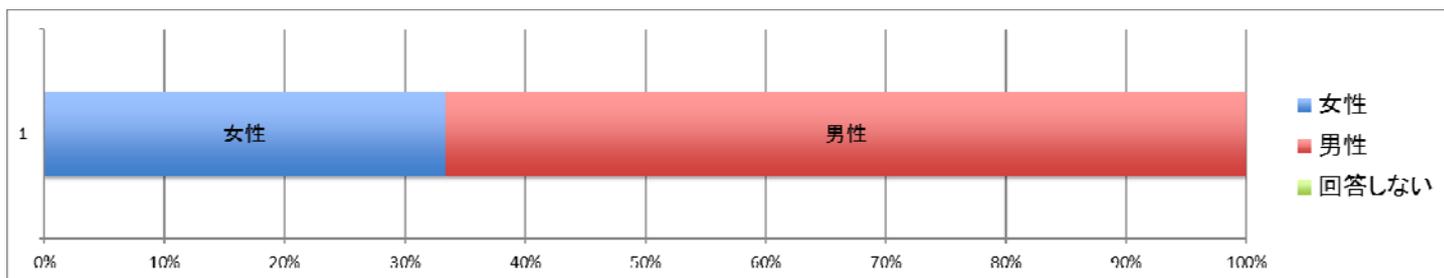
家庭



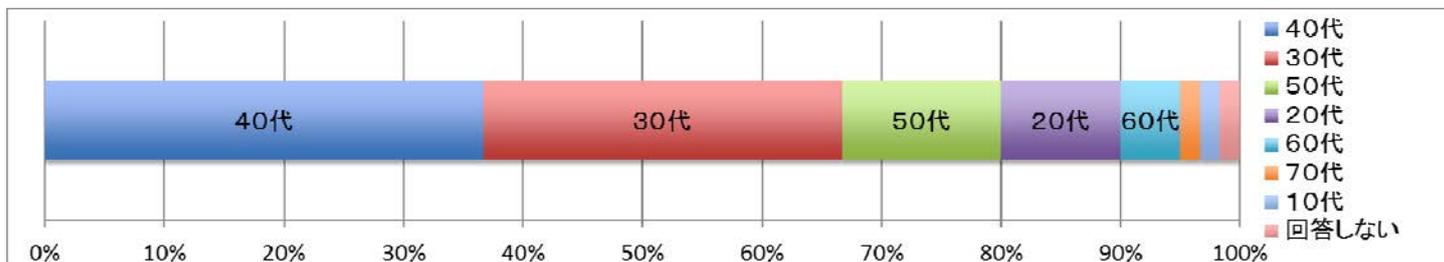
- ◎ 特に改善したい点はありません
- ◎ 仕事以外の活動場所を広げたい
- ◎ PTAや地域活動は専業主婦が主体であった時代の枠組みのまま進められています。それらも同時に変化することが必要だと思います。
- ◎ 年俸制労働の普及

◎ 働き方の仮題としては、昨年よりも割合が低下したが、依然として意識の改革が最も多く、逆に勤務時間、職場環境を挙げられた方の割合が増加した。
 ◎ 家庭環境では、育児が最も多いのは昨年と同様であるが、介護よりも経済的支援を挙げた方が増加した。

Q5. あなたの性別をお教えてください。

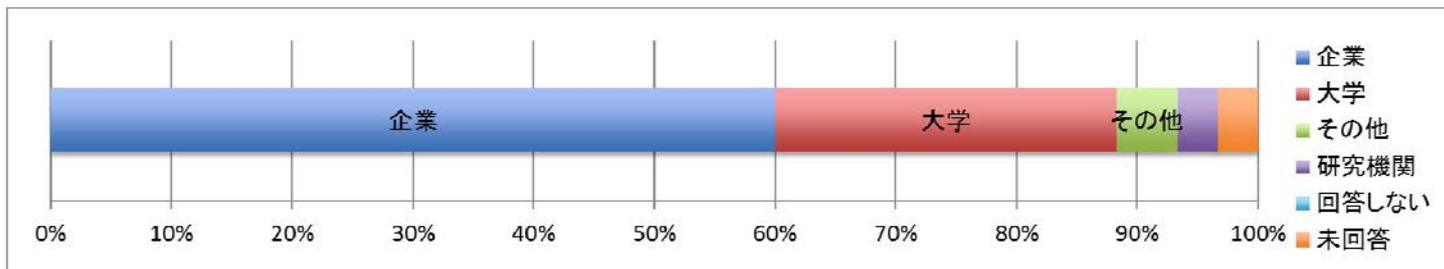
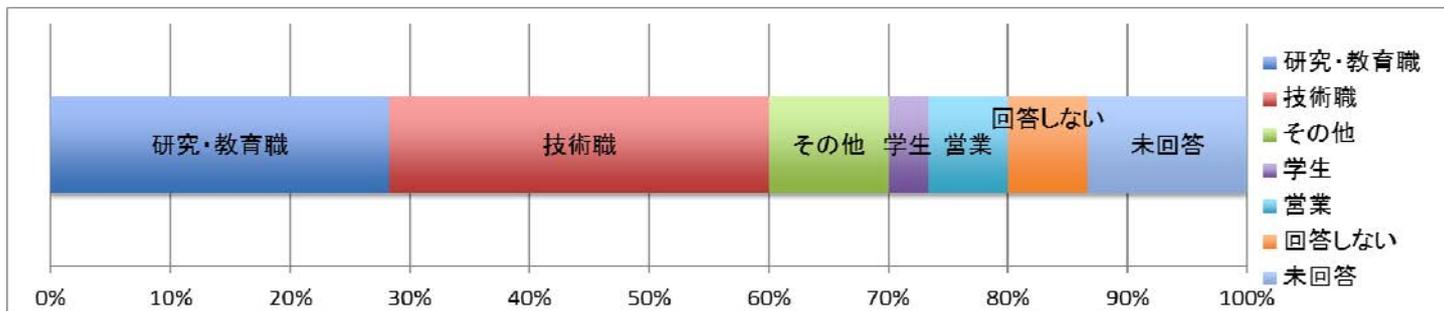


Q6. あなたの年齢をお教えてください。



◎ 回答者の1/3が女性、2/3が男性であった。年代は40代、30代がほぼ同数で全体の2/3を占めた。

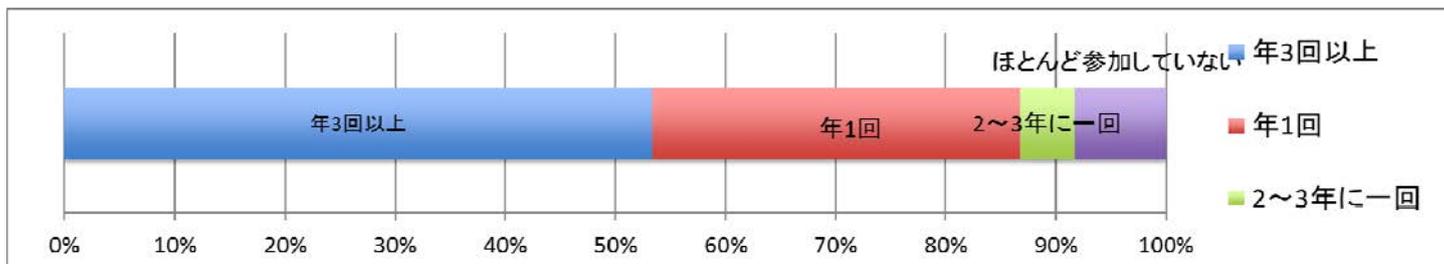
Q7. 職種と所属機関をお教えてください



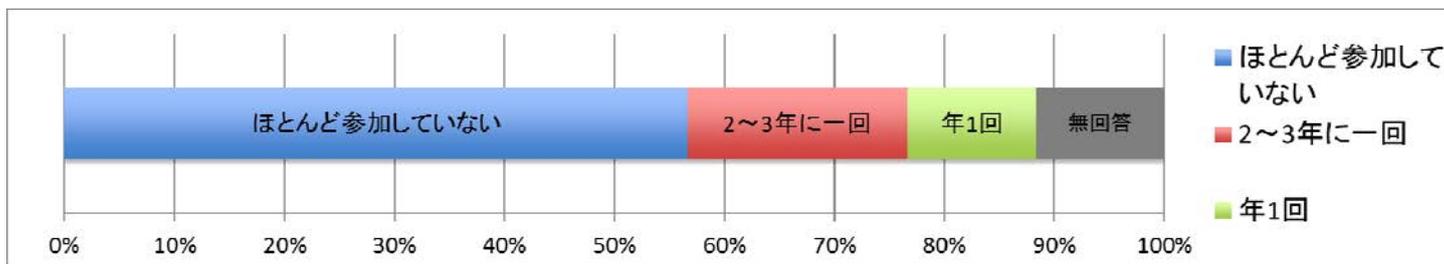
職種の6割の方が研究・教育職、技術職であった。また所属は、企業の方が6割ついで大学が3割弱であわせて約9割を占めた。

Q8. 年間の学会参加回数ほどのくらいですか。

国内



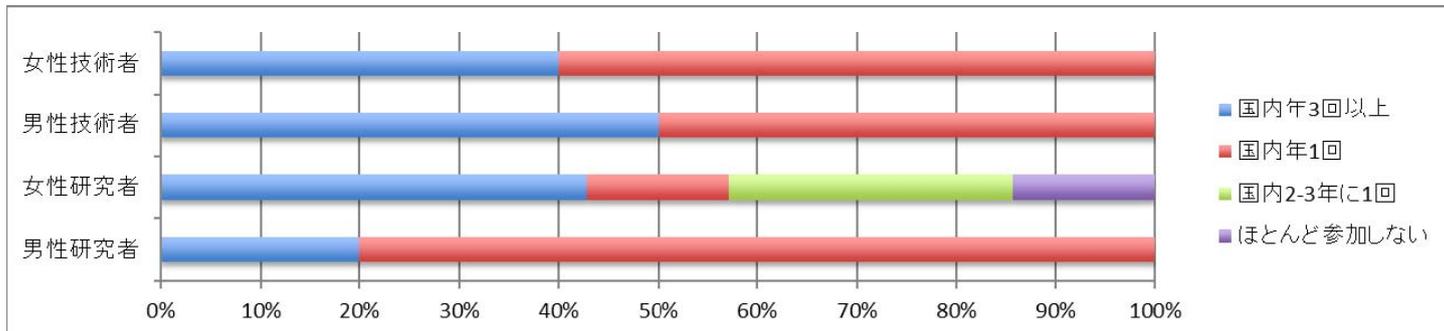
国外



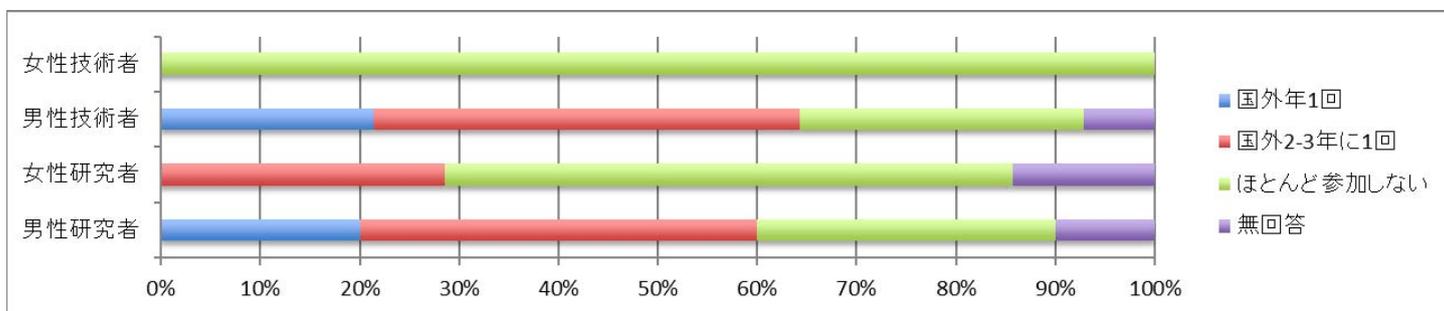
国内学会には85%以上の方が年1回以上参加しているが、海外学会への参加は、昨年同様年1回以上は10%程度にとどまり、ほとんど参加していない方が57%であった。

Q7-8. 職種別の年間の学会参加回数.

国内職種別



国外職種別

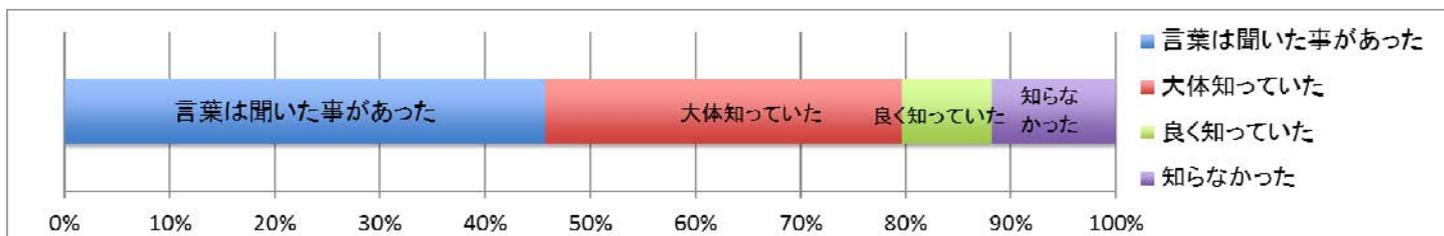


技術者の方は、国内学会には男女ともほぼ全員が年1回以上参加しているが、海外学会への参加は、男性が2,3年に一度以上の方が60%以上に対して、女性は全員がほとんど参加しない状況であった。

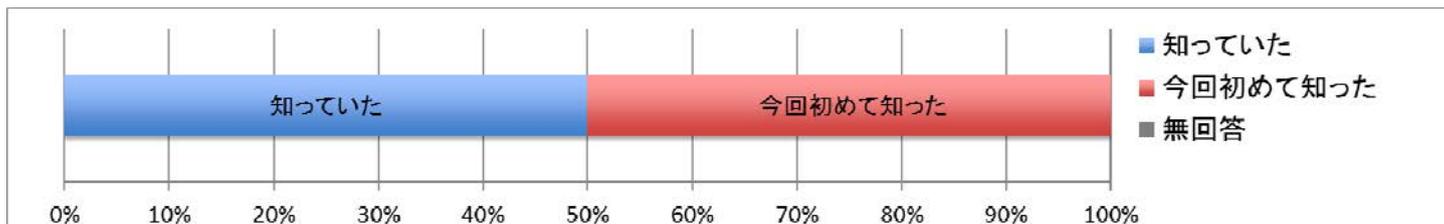
一方で、研究者の方は国内学会には、男性は全員が年1回以上、女性は2,3年に1回以上で85%程度の方が参加されていたのに対して、国外では、男性の60%の方が2,3年に一度は参加するのに対して、女性はほぼ60%の方がほとんど参加しない状況で、技術者、研究者とも女性の方の海外学会への参加は、男性と比べて著しく低かった。

今回、男女・職種別に国内外出張の調査を集計したことにより、その差が鮮明になることがわかった。今後も調査を続け、改善につながる方策も検討したい。

Q9. これまでに内閣府や学協会がとりくんでおります男女共同参画について存知でしたか。



Q10. 質量分析学会において、男女参画推進委員会が活動している事をご存知でしたか。



回答者の90%弱が男女共同参画という言葉を知っていたが、昨年度と比して数%ほど低下した。また、質量分析学会における男女共同参画推進委員会の活動に関しては、認知度50%程度と、一昨年のレベルにとどまった。

Q11. 男女共同参画に関連したシンポジウムで希望する企画はありますか。(自由回答)

- ◎ 男性にも多く参画していただくにはどうすればよいか？
- ◎ 恥ずかしながら今回初めて知ったので、もっと啓蒙活動を強めて頂きたい。
- ◎ もっともっと大々的に活動してほしいです。全然知らなかったので
- ◎ キャリア教育 ライフ
- ◎ パネルディスカッション
- ◎ 討論会等における企画(WS, ポスター)も重要ですが、実際に学会運営・活動に生かしていく企画
- ◎ 子育てだけでなく、介護という問題も存在している事を認識できる企画

Q12. 日本質量分析学会における男女共同参画推進について、ご意見がありましたらお聞かせください。

1) 取り組んでもらいたい課題

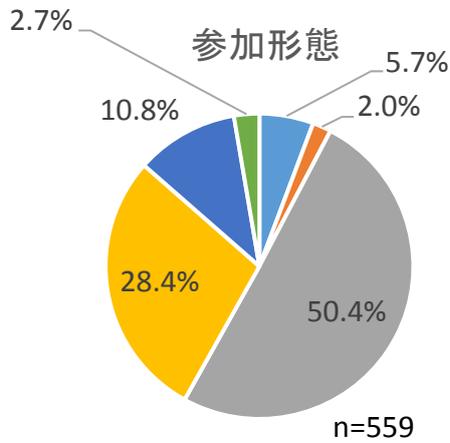
- ◎ 委員会の存在は知っていたが、学会内での活動内容を知らない。もっとアピールが必要かもしれない
- ◎ 育児休暇中のキャリアが中断してしまう事への対応
- ◎ 託児サービス(女性だけでなく男性も)

2) ご意見等

- ◎ キーワードを時間制約とし、属性(男女、子供がいるいないなど)ではなく、価値観で切り分けていくことがより先進的な取り組みには大切かもと思っている
- ◎ 他の学会との共同企画とか
- ◎ きれい事ではなく、現状に近い状況をどうすれば良いのかを考える時間とアイデアを、共通する時間の提出を希望する
- ◎ 一般に、育児、保育の環境・整備が重要

今回のアンケートからは、活動の認知度を上げ、現状を打開する活動の検討が必要であると読み取れた

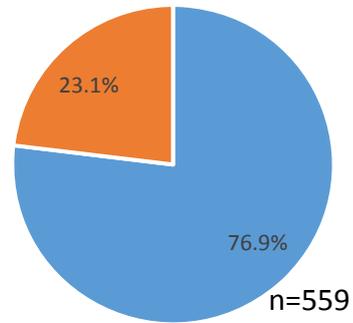
第64回質量分析総合討論会 属性調査結果



- 主催者 ■ 招待 ■ 正会員
- 非会員 ■ 学生会員 ■ 学生非会員

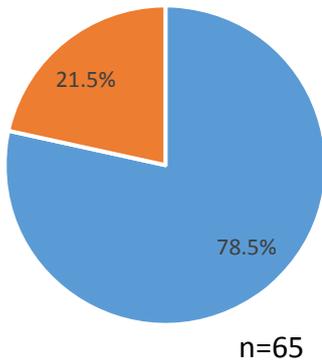
主催者には学生スタッフ、オーガナイザーを含む
招待には名誉会員を含む

参加者男女別



- 男性 ■ 女性

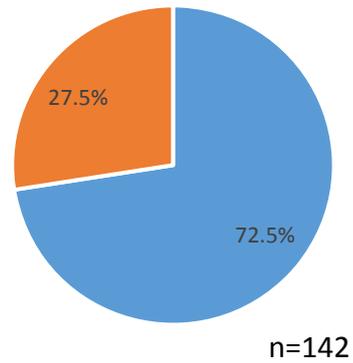
口頭男女別



- 男性 ■ 女性

口頭・ポスター両エントリーを含む

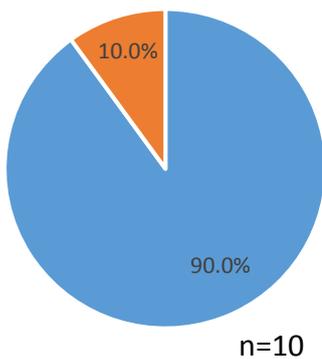
ポスター男女別



- 男性 ■ 女性

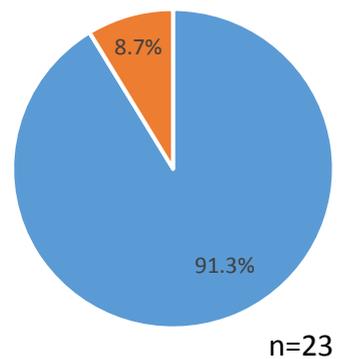
口頭・ポスター両エントリーを含む

基調・招待男女別



- 男性 ■ 女性

オーガナイザー等男女別

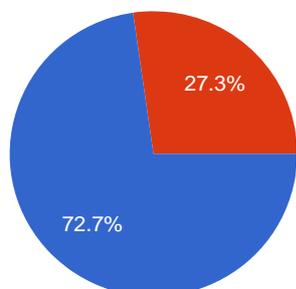


- 男性 ■ 女性

オーガナイザーを含む

第 43 回 BMS コンファレンス男女共同参画 アンケート集計結果

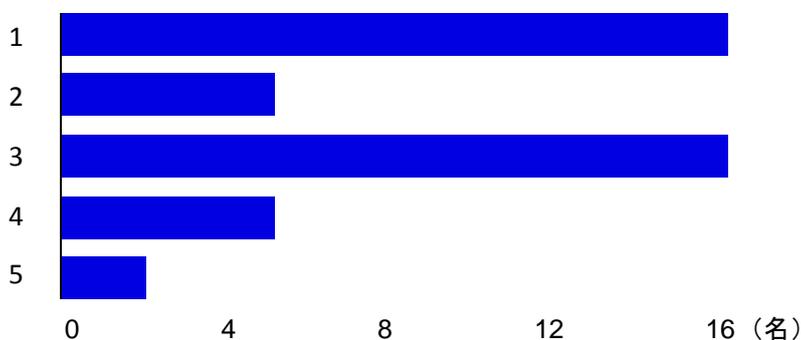
Q1 日本質量分析学会の男女共同参画推進委員会をご存知ですか。



はい	24	72.7%
いいえ	9	27.3%

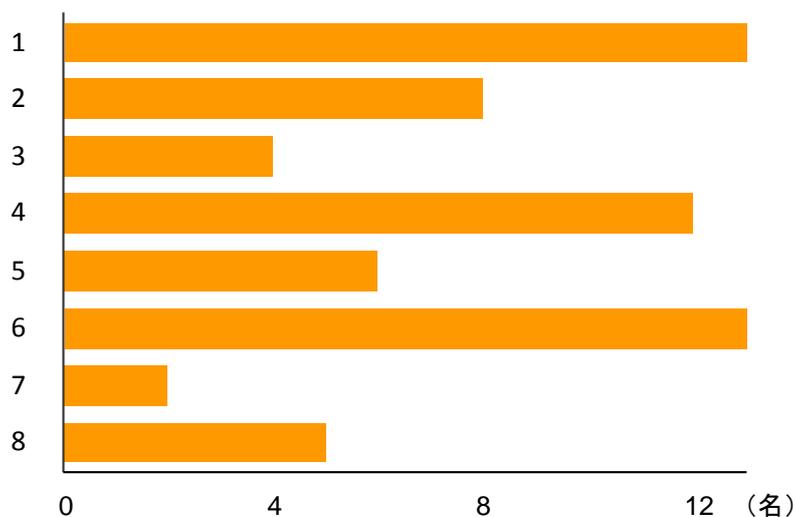
Q1-2 「はい」とお答えの方にお尋ねいたします。

ご存知の男女共同参画推進委員会の活動をお教えてください。(複数回答可)



1. 質量分析総合討論会などでのワークショップ	16	66.7%
2. 質量分析総合討論会などでの実践セミナー	5	20.8%
3. 質量分析総合討論会などでのポスター発表	16	66.7%
4. 男女共同参画推進委員会のホームページ	5	20.8%
5. その他	2	8.3%

Q2 日本質量分析学会の男女共同参画推進委員会の「今後の活動」に期待することをお尋ねいたします。Q1の回答に関わらず、皆様ご回答をお願いします。（複数回答可）

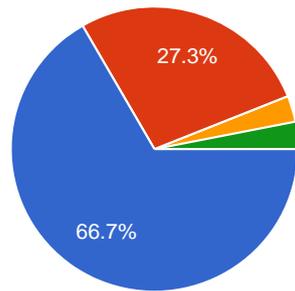


1. 質量分析総合討論会などでのワークショップ	13	40.6%
2. 質量分析総合討論会などでの実践セミナー	8	25.0%
3. 質量分析総合討論会などでのポスター発表	4	12.5%
4. 質量分析総合討論会などでの相互討論できるグループディスカッションなどの開催	12	37.5%
5. 日本質量分析学会誌への活動紹介記事の掲載	6	18.8%
6. 託児の充実	13	40.6%
7. 学会活動における属性調査の継続	2	6.3%
8. 学会ホームページの充実	5	15.6%

Q3 日本質量分析学会の男女共同参画推進委員会の「今後の活動」に期待することについて、上記以外にご希望がございましたらご記入ください。

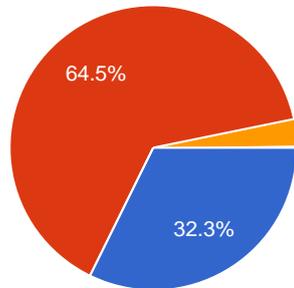
- ◎ よその学会とのコラボ
- ◎ ワークショップの企画は面白かったです。またの実施、期待しています。
- ◎ 委員会が主催の学術 MS 関連のセミナー
- ◎ 初参加なので詳細がまだ良く分かりませんでした。ホームページで今度確認いたします。
- ◎ 介護時のサポートや理解の手助け。（男女参画は、子育てだけでなく、親世代の介護等の終わりのないサポートがあると思う。）

Q4 ご回答くださいました方は、日本質量分析学会の



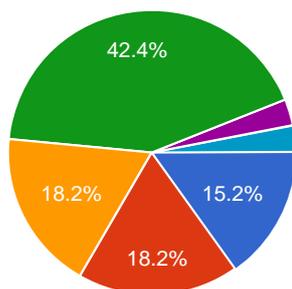
会員	22	66.7%
非会員	9	27.3%
学生会員	1	3.0%
学生非会員	1	3.0%

Q5 性別をお尋ねいたします



女性	10	32.3%
男性	20	64.5%
回答しない	1	3.2%

Q6 年齢をお尋ねいたします



~30歳	5	15.2%
31~40歳	6	18.2%
41~50歳	6	18.2%
51~60歳	14	42.4%
61歳~	1	3%
回答しない	1	3%